

Song Review 9 #I will survive

『#I will survive』(Gloria Gaynor、1978年)を取り上げる。
本曲は、ディスコの名曲であり、個人の再生と自己肯定を力強く歌い上げた曲として、今なお世界中で愛されている。本曲には妻に誘われて観たオーストラリア映画『プリシラ』(1994年)で出会った。この映画は、3人のドラッグクイーンが「プリシラ号」と名付けたバスでオーストラリアの砂漠を旅しながら、ショーを行うために目的地へ向かうロードムービーである。旅の中で彼らは偏見や差別に直面しながらも、自分らしさを貫き、友情と自己肯定を深めていく。1970年代後半は、ウーマン・リブ(女性解放運動)が盛んで、1979年には国連で女性差別撤廃条約が採択された。この曲は、そうした時代の空気を反映し、女性の自立と強さを象徴する歌として受け止められた。私は、ジャズトロンボーン奏者のNils Landgrenによる歌とジャズアレンジを日頃よく聴いている。

At first I was afraid, I was petrified
Kept thinkin' I could never live without you by my side
But then I spent so many nights thinkin' how you did me wrong
And I grew strong, and I learned how to get along
(最初は恐怖のあまり 凍りついた
あなたが傍にいないと 生きていけないと思っていた
でも あなたに受けたひどい仕打ちを思い返しながら 夜を重ねるうちに
私は強くなった 乗り越えるすべを身につけたの・・・)
・・・
Go on now, go, walk out the door
Just turn around now, 'cause you're not welcome anymore
Weren't you the one who tried to break me with goodbye?
Did you think I'd crumble? Did you think I'd lay down and die?
Oh no, not I, I will survive
Oh, as long as I know how to love, I know I'm still alive
I've got all my life to live, and I've got all my love to give
And I'll survive, I will survive**
(さあ 行って ドアを開けて出てって
引き返して あなたはお呼びじゃないのよ
別れを切り出して 私を痛めつけようとしたのは そっちじゃなかった?
私がボロボロになって 倒れて死ぬとでも思った?
いいえ 大間違いよ 私は生き抜く

人を愛することができるかぎり 私は生きていける
人生はこれからだし この心は愛に満ち溢れている
私は生き抜く 生き抜いてみせるわ)

「私は生き抜く」というメッセージが、LGBTQ+の人々が直面する困難と、それを乗り越える精神に深く共鳴する、ゲイの歌である。映画の終盤、主人公たちが困難を乗り越え、ステージで輝く姿とともに「I Will Survive」が流れる場面は、観る者に「自分らしく生きることの美しさ」を強く訴えかける。

映画『プリシラ』では、「I Will Survive」と並んで自己肯定と祝祭の象徴として機能したのが、『Finally』(CeCe Peniston: 1991年)である(全米ダンスチャート1位を獲得)。この曲は、長い間探し求めていた真実の愛にようやく出会えた喜びを歌っている。

Finally it has happened to me / Right in front of my face and I just
cannot hide it...

(ついにそれが起きたの、目の前で。もう隠せない…)

Meeting Mr. Right, the man of my dreams

The one who shows me true love, or at least it seems

With brown cocoa skin and curly black hair

It's just the way he looks at me, that gentle loving stare

(私の夢の男、ミスター・ライトに会う 私に真実の愛を見せてくれる人、少なくともそう思える人 茶色のカカオの皮と巻き毛の黒髪 - それは彼が私を見る方法、その優しい愛情のこもった視線です)

両曲とも、「自分を肯定すること」が中心にありながら、『I Will Survive』は「闘いの末の勝利」、『Finally』は「歓喜の到来」として歌われている。

評価：★★★★☆